

香りで春 感じてほしい

支援学校へ桜を贈呈 春めき財団



西村副校長（左）と古屋理事長。後ろがモバイル春めき

南足柄市で生まれた「の支援などに取り組み
早咲きの桜「春めき」一般財団法人「春めき
を活用した視覚障害者 財団」（古屋富雄理事

長、同市塚原は4日、
東京都世田谷区の特別
支援学校都立久我山青
光学園（相賀直校長）
にモバイル春めき2鉢
を贈った。

同財団では、香りで
桜に感じてほしいと、
モバイル春めきを盲学
校などに贈呈してい
る。

この日の贈呈では、
古屋理事長のほか、同
財団と関わりがあり、
春めきを使った香料を
開発した長谷川香料、
香料を使ってシャンプ
ーなどを商品化したク
ラシエホームプロダク
ツの関係者も同席し
た。

同財団には視覚障害
教育部門（幼稚・小学
・中学）と知的障害教
育部門（小学・中学）
がある。古屋理事長は
「花の香りがする桜で
一足早い春を皆さんに
感じてもらえれば」と
話している。

同財団では、香りで
桜に感じてほしいと、
モバイル春めきを盲学
校などに贈呈してい
る。

春めきは、ソメイヨ
シノなどより早く咲
き、花はやや濃い目の
桜色。桜としては強い
香りをもつのが特長
で、花びらに鼻を近づ
けると、桜もちのよう
な甘い香りが感じられ

同学園中庭で、古屋
理事長から同校の西村
みゆき副校長に、美し
い花を咲かせたモバイ
ル春めきが贈られた。
古屋理事長による
と、これまでに複数の
企業が春めき関連の商

る。古屋理事長は春め
きの品種登録者で、モ
バイル春めきは室内で
も春めきが楽しめるよ
うにと、苗木を鉢植え
に入れたもの。

品を販売。売り上げの
一部は財団に寄与さ
れ、社会貢献につなが
る仕組み作りが出来つ
つあるという。
今後企業と連携し
春めきの普及を進める
とともに、財団主旨の
「個人も企業も社会貢
献」をモットーにした
活動の幅を広げたい、
と意欲を見せている。